



マナビィつうしん

令和元年9月12日(木)

ご存知でしたか（文科省再編 中教審答申）

【文部科学省再編】

昨年10月から、これまで社会教育や生涯学習などを所管していた文部科学省生涯学習政策局が総合教育政策局となりました。これまでは、学校教育政策と社会教育政策とが縦割りで展開されているとの指摘がありました。組織再編により設置された総合教育政策局は、これまでの取組を大きく前進させ、学校教育と社会教育を通じた包括的で一貫した教育政策を推進するとしています。

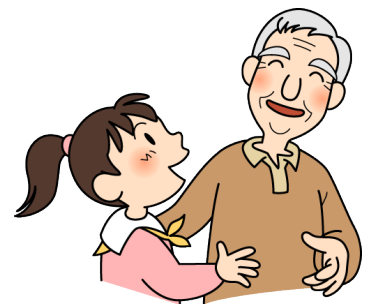
局内には、政策課、教育改革・国際課、調査企画課、教育人材政策課、生涯学習推進課、地域学習推進課、男女共同参画共生社会学習・安全課があり、官房参事官や社会教育振興総括官が配置されました。この再編によって、社会教育や生涯学習等の施策がどうなっていくのでしょうか。見守っていきましょう。

【中央教育審議会答申：人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について】

昨年12月、中央教育審議会は、上記の答申を出しました。全部で36ページありますので、ポイントをお伝えします。関心のあるところは、ぜひ本文をご覧ください。

1 地域における社会教育の目指すもの

- ・地域社会における社会教育の果たすべき役割は、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりであり、持続可能な社会づくりを進めるために、住民自らが担い手として地域運営に主体的に関わっていくことが重要。
- ・新たな社会教育の方向である「開かれ、つながる社会教育の実現」に向けて、①社会的に孤立しがちな人々も含め、より多くの住民の参加を得られるような方策の工夫、②首長部局やNPO、企業等と連携するネットワーク型行政の実質化、③地域の学びと活動を活性化する多様な人材の活躍 を後押し、の3点が挙げられています。



2 「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けた具体的な方策

(1) 学びの参加へのきっかけづくりの推進

- ・子ども・若者の参加を促し、地域との関わりの動機づけとなり得る成功体験づくり、福祉部局等と連携したアウトリーチの取組の強化など

(2) 多様な主体との連携・協働の推進

- ・NPO、企業、大学等と行政関係者の積極的な意見交換や協議、社会教育と学校教育の一層の連

携・協働など

(3) 多様な人材の幅広い活躍の促進

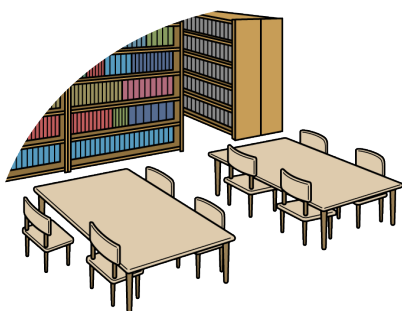
- ・地域の課題解決等に熱意をもって取り組む多様な人材を社会教育の活動に巻き込み、連携
- ・教育委員会における社会教育主事の確実な配置など

3 今後の社会教育施設の在り方

(1) 今後の社会教育施設に求められる役割

- ・公民館：地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割、地域の防災拠点
- ・図書館：他部局と連携した個人のスキルアップ等の支援、住民のニーズに対応できる情報拠点
- ・博物館：学校における学習内容に即した展示・教育事業の実施、観光振興や国際交流の拠点

(2) 今後の社会教育施設の所管の在り方



- ・社会教育に関する事務については、今後とも教育委員会の所管を基本とすべき
- ・地方公共団体の長が公立社会教育施設を所管できる特例を設けることについて、社会教育の適切な実施の確保に関する制度的担保が行われることを条件に、可とすべき

遅ればせながら、ご挨拶です。中信教育事務所のメンバー4名は、昨年度とかわりませんでした。かわらなかつた強みを生かして、今年度の業務を推進しています。

生涯学習課4名からのごあいさつ

生涯学習課の4名のメンバーは、昨年引き続き業務を担当します。「地域とともにある学校づくり、地域づくり、人づくりの支援」、「人が大切にされる地域づくりへ向けた支援」、「ライフステージに応じた体力向上・健康の保持増進支援」をさらに推進してまいります。

市町村教育委員会の担当者の皆さんには、様々な点でお世話になりますが、引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。ご挨拶が大変遅くなってしまいました。